



# 洗心

村山市立袖崎小学校  
学校だより  
No.13

令和7年10月29日発行

## 困難を体験することこそが価値

### 10月9日マラソン記録会・全校芋煮会



簡単便利で快適で、AIに聞けばなんでも答えが出てくる世の中だからこそ、学校の活動の価値は、「困難を体験する」ことにあります。わざわざ屋外で子どもたちが芋煮会をするのは、薪に火がつかなくて苦労したり、材料を入れるタイミングがわからなかったり、調味料の量で迷ったり意見が分かれたりして、「困る」体験をしてほしいからです。だからこそ、私たち職員は、危険な時以外は指示や口出しをせず、子どもたちが試行錯誤しながら、困難を乗り越えていくのを見守ります。たとえ時間がかかるっても、芋煮がおいしくできなくても構いません。せっかくレシピを調べてきたのに生かせない。すぐに「先生が何とかしてくれるだろう。」と思って頼る。そのような思考パターンから脱却してほしくて、「挑戦し、やり抜く」というテーマを設定しています。「失敗はチャンス」です。困ったら、「どうするのか自分で考える」「友達と相談する」「(責任が伴う)自己決定の怖さを乗り越える」という経験を積み重ねて、子どもたちは成長するのです。「転ばぬ先の杖」で、大人がいちいち指示や口出しをしていては、いつまでたっても、「挑戦し、やり抜く」力はつかないと私たちは肝に銘じています。



そしてマラソン記録会。当日まで、子どもたちは5分間マラソンで力を蓄えてきました。当日、得意な人は自分のめあてに向かって限



界突破をめざし、得意でない人は苦しくて顔を歪めながらでも、最後まで走り切りました。まさに、「挑戦し、やり抜く」姿だったと思います。走り切った子どもたちの表情から、困難を体験しそれを乗り越えることは、心の強さも育ててくれることを再確認しました。ご家族の方や地域の方にもたくさん声援をいただきました。ありがとうございました。



## 節目をつくる終業式・始業式



10月10日の前期終業式では、児童代表(1年白井優歩さん、3年平山琴那さん)が前期のがんばりを発表しました。「挑戦し、やり抜いた結果、苦手なこと(水泳で顔を水につけること、自分の意見を書くことなど)が少しずつできるようになったり、いつしか得意になったりしたこと」が、素直な言葉で語られ、自分の成長を実感した喜びが伝わってきました。聞いているこちらもうれしくなる発表でした。

また、14日の始業式では、児童代表(2年八鍬花南さん、5年能登弘丞さん)が後期にがんばりたいことを発表しました。目標達成のために、何に、どのように取り組むのかが具体的に考えられていて、すぐにでも始めようという意気込みが感じられました。





## 県知事に遭遇 3, 4年校外学習 (県立博物館、山形県庁、文翔館)

10月7日(火)に3, 4年生が校外学習に出かけました。県庁では、偶然、吉村県知事にもお会いできました。「見たことがある！偉い人！」と子どもたち。どの見学場所でも、説明の方の話をよく聞き、展示物をじっくり見て、熱心にメモを取ることができました。



県立博物館には、アメジストもありました。私も、貴重な石を見つけたいです。【3年伊藤麦さん】

展示されている物は、ほとんどが山形で発掘されたと聞いてびっくりしました。【3年佐藤蓮さん】

文翔館は昔の県庁と知ってびっくりした。歴史の本をもっと見ようと思った。【3年菅原岳さん】

文翔館に行って、山形には日本一がたくさんあることを初めて知りました。【3年平山琴那さん】

化石は色々な種類があると知りました。アメジストがきれいに光っていました。【3年八鍬佳楓さん】

でかいクジラの化石(ヤマガタダイカイギュウ)がすごくて、びっくりした。【3年森海登さん】

文翔館の時計やガラスは109年前の物だと知りました。県庁から景色を見ました。【4年後藤優翔さん】

博物館と県庁に国宝があることがすごいと思いました。化石もあると知りました。【4年八鍬想さん】

県立博物館でヤマガタダイカイギュウの化石のことを探ることができました。【4年土田景丸さん】

文翔館は109年前に建てられ、時計は日本で二番目に古いことがわかりました。【4年土田碧さん】

初めて16階あるビルに行きました。16階からの景色はとてもきれいでした。【4年土田心晴さん】

文翔館はとてもきれいで、2Fと1Fのレンガの色が違うのがすごいと思いました。【4年森月奏さん】

文翔館のシャンデリアがきれいで、化石で色々な魚がいたとわかりました。【4年土田晴咲さん】

博物館では、色々なきちょうなものがあってびっくりした。昔のものもあった。【4年八鍬颯太さん】

## 元気がはじけるダンス！文化交流会



子どもたちが見つめる指先の向こうに光を感じるーそんな気持ちにさせてくれる元気いっぱいのダンスでした。



10月17日(金)、村山市内の小学校が一堂に会して文化交流会が行われ、本校からは2、3、4年生が参加しました。今回のダンスは、ウェブサイトにあったものをベースに、子どもたちが取り入れたい動きやフォーメーションを生かして作られました。初めて出演した2年生も大舞台に臆することなく、ダンスが得意でない人も



周りに遅れまいと精一杯体を動かし、ステップを踏んでいました。ウェーブなど、タイミングがずれると台無しになる動きは難しいのですが、練習のかいあって決めることができました。緊張しながらも次第に笑顔がこぼれ、発表を楽しむことができました。保護者の皆さん、様々なお力添えありがとうございました。